きょうは憲法記念日です。

大阪弁護士会

あなたを一人にしない 弁護士がそばにいます

小学生が聞く 弁護士さんってどんな人？

大阪弁護士会では、法教育活動として大阪府内の学校への出張授業を行っています。今回は、大阪弁護士会の会長・松葉知幸さんが、出張授業の後「弁護士さんのことをもっと知りたい」との声があがった堺市立熊野（くまの）小学校を訪問。小学生の皆さんからのさまざまな質問に答えました。

大阪弁護士会
会長 松葉 知幸さん
1976年京都大学法学部卒業。1978年大阪弁護士会に登録。1981年松葉法律事務所を設立。2015年4月、大阪弁護士会会長に就任。日本弁護士連合会副会長、近畿弁護士会連合会常務理事を兼務

―― 弁護士さんの毎日は、どんな感じですか？

会長 毎日、いろんな人の悩み事や困ったことについて相談を受けています。貸したお金を返してくれないので何とかしてほしいというような民事事件や、悪いことをしたと疑いをかけられている人を弁護する刑事事件など、いろんな事件にも関わります。警察に捕まった人を弁護するときは、警察署へ面会に行き話を聞きます。裁判所で法廷に立つこともありますし、争いごとを調停という話し合いで解決することもあります。

―― 弁護士さんは悪い人の味方をするイメージがありますが、その人が絶対に犯人だと思っていても弁護しないといけないのですか？

会長 私は悪いことをしたかどうかは、ほんとうは神様にしか分からないと思っています。神様ではなく「人が人を裁く」場合は、間違うこともあります。その人が犯人ではないかもしれません。でも、神様は決めてくれないので、人が決めなくてはいけません。その時に、どうやって人が人を裁くのかを細かく書いてあるのが法律です。

例えば、みんなが見ているところで人を傷つけたなら、傷つけたという事実はあります。でも、相手がひどい人だったのかもしれない、もしかしたら自分が傷つけられると思ってやったのかもしれない。犯人であってもいろいろな事情があります。だから、弁護士は真っ白な気持ちで本人と会ってきっちりと話を聞き、いろんなことを調べて、法律というルールに基づいて裁判をしていきます。無罪の人を罰したり、犯人であっても重すぎる刑になったりしてはいけないので、事情があれば、そのことを本人の代わりに話をして、弁護しなければなりません。誰かが「あいつは悪いやつだ」というだけで罰せられてしまうのは恐いことです。そうならないよう、弁護士は悪いことをした人であっても必ず関わり、弁護士としての仕事を全うします。

―― 法律はどれくらいあるのですか？

会長 法律は2000くらいありますが、いろんな法律の中心にあるのが憲法です。憲法の内容に従って、国会で国会議員が話し合い、法律を決めます。他に、県や市の議員さんが話し合って作るルールを「条例」と言います。

―― テレビで弁護士バッジを見たことがありますが、弁護士バッジにはどんな意味が込められているのですか？

弁護士バッジは、周囲が「ひまわりの花」で、中に「天秤（はかり）」が入っています。ひまわりはお日さまを表していて、お日さまに向かって正しいことをしよう、自由と正義を重んじようという意味です。真ん中の天秤は、公正と平等の印です。「どんな場合でも自由と正義を求め、公正と平等を目指す」という弁護士のモットーがバッジに示されています。

堺市立熊野小学校の教室にて。小学生の皆さんからの質問一つひとつに丁寧に答える松葉会長と、少し難しい話にも真剣に耳を傾けてくれた6年生の皆さん。司会は大阪弁護士会の加藤慶子弁護士

―― 弁護士をしていて、困ったことやうれしかったことはありますか？

会長 弁護士は、物事を解決しようとするのが仕事ですが、争いごとに関係している人たちは、それぞれの立場でいろんな意見を持っているので、人との関係でしんどい思いをしたり、困ったりすることもあります。逆にうれしいことも、人との関係から生まれます。依頼人のために一生懸命取り組んで、いい結論を得られた時、「ありがとうございます」と感謝されるとすごくうれしいですね。

―― 弁護士として自分を誇りに思うのはどんな時ですか？

会長 私は、消費者契約法という法律をつくることに関わりました。法律で取り締まらないといつまでも被害者が生まれる事件があり、仲間の弁護士と一緒に法案をつくり、いろんなところに「こんな法律をつくりましょう」と働きかけました。最終的には国会で法律になり、社会にも大きな影響を持つことになりました。弁護士は社会の中で喜ばれる、意味のある仕事に関わる可能性や機会があります。それをきちんとやり遂げられたら誇りに思います。

座談会に参加してくれた堺市立熊野小学校・6年生の石井優里佳さん、佐古翔汰くん、高田陽菜さん、三好大翔くん、安井桃花さん（50音順）。皆さんからは「どんな人に対しても公平に話を聞く弁護士さんはカッコイイ」という感想も

広告